



ほけんだより 7月号

2026年7月1日
昭和ナースリー
看護師

ナースリーで流行中『3つの夏風邪』

登園のめやす

※参考：こども家庭庁、
保育所における感染症対策ガイドライン

発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、
普段の食事がとれること
(発熱・のどの痛み・下痢がみられる場合や
食べ物が食べられない場合は登園を控える)

園医からの助言

『ナースリーの現在の発生状況を踏まえ、お子様の
集団生活における体調回復を考慮すると、手足口
病の診断日から4日間は自宅療養を推奨』

発熱、充血等の主な症状が消失した後2日を
経過していること

昭和ナースリー6月の感染症報告

- 突発性発疹 1名(ひよこ組)
- 手足口病 16名(ひよこ8名・うさぎ7名・くま1名)
- ヘルパンギーナ 2名(ひよこ1名・うさぎ1名)
- ヒトメタニューモウイルス 2名(うさぎ2名)
- 溶連菌感染症 1名(うさぎ組)

ヘルパンギーナ

- ・のどの痛み
- ・喉の奥に水疱性の発疹や潰瘍
- ・39~40℃の高熱が2~3日続く

手足口病

- ・口の中やのどの痛み
- ・手や足、口腔内、臀部などに水疱性の発疹
- ・38℃台の熱が出ることもある

プール熱 (咽頭結膜熱)

- ・のどの痛みが3~5日続く
- ・目の痛みやかゆみ、目ヤニが出る
- ・嘔吐や下痢・頭痛を伴うことがある
- ・39~40℃の高熱が4~5日続く



夏風邪を起こすウイルスは、冬のものとは異なり、高温多湿を好むタイプです。いずれの病気もウイルスによる疾患なので、治療薬はなく、対症療法のための薬が処方されます。水分や食事がとれ、機嫌がよく、全身状態がよければ、ひと安心ですが、**繰り返し感染することもあり、大人もかかってしまう**病気です。**手洗い・うがいをする、マスク着用、タオルを共有しない**など、感染対策をしましょう。症状が治った後も比較的長い期間(およそ1か月)、便の中にウイルスが排泄されているため、**オムツ交換後の手洗いを徹底**しましょう。また、アルコール消毒が効きにくいので、**次亜塩素酸ナトリウムで室内の消毒をする**のも感染拡大予防策の1つです。ナースリーでは流行期は玩具消毒の消毒液の濃度を濃くする対策をしています。

気をつけよう! 『アタマジラミ』

日本でのアタマジラミの発生は、1年を通して起こりますが、プールや水遊びが開始される7月頃に多いという結果が発表されています。(国立感染症研究所)

【成虫】 大きさ2~4mm
頭皮から吸血し、かゆくなる。
毛根の辺りにひそんでいる。

【卵】 大きさ0.5mm
フケと間違われる。
毛髪にしっかりくっついているため、
指で滑らせて取るうとしても
なかなか取れない。



アタマジラミの症状・見つけ方

- 卵は耳の周囲から襟足にかけて多く付着している。
- 吸血部分にかゆみを訴えることが多いが、子どもは無症状のこともある。

アタマジラミの予防法

- 髪は毎日洗い、洗髪後はドライヤーで乾かす。(アタマジラミは熱に弱い)
- タオル、ブラシの共用はしない。
- 定期的に子どもの頭髪を観察する。

髪の長い子は、髪をゴムで結んでください😊
ただし、事故防止のため、ヘアピン・飾りのあるゴム
は使用不可です。ご協力よろしくお願いします。

ナースリーでは、アタマジラミの発症報告は長らくありませんが、
アタマジラミが見つかった場合は、ナースリーに必ずお知らせください。

登園停止の必要はありませんが、できるだけ早期に適切な治療をする必要があります。世田谷保健所では、専用すきグシの貸し出しや駆除等に関するアドバイスをを行っているそうです。

